

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

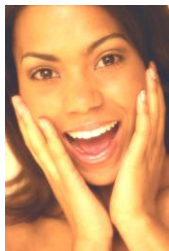
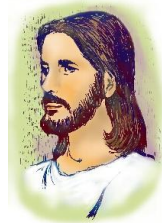
② 礼拝説教に関係した短いお話し ・ルカ24の13～35

イエス様が復活された日に、ふたりのお弟子さん達が、エマオという町に歩いていました。そして、二人はイエス様の事について色々と話していました。すると、復活されたイエス様が近づかれて「誰の事を話しているのですか？」と話しかけました。

しかし、二人のお弟子さんは、それがイエス様だとは分からず、暗い顔をして「イエス様の事です。」と言いました。「イエス様は、色々な病気の人を癒され、聖書の事を分かり易く教える人でした。私達は、このイエス様こそ、救い主だと思っていたのに、偉い人達はイエス様を十字架にかけて、殺してしまったの

です……。ですが、今日は、それから3日目になるのですが、仲間の女性達が朝早くお墓に行ったら、イエス様の体は、お墓にはなく、天使が現れて、『イエス様は復活された。』というのです。」イエス様は、「救い主は、そのようになるはずだ、聖書に書いてあるでしょう。」と言われて、聖書の色々なところから、教えられました。すると、二人の心は、なんだか明るい気持ちが湧きあがってきました。そして、「もっとお話を聞かせて下さい。」と一生懸命に頼みました。夕飯の時、イエス様が食事のお祈りをされると、パツと2人の心の目がひらかれて「目の前にいるのは、イエス様だ!!」と分かりました。すると、イエス様は見えなくなりました。しかし、お弟子さん達は、喜んで、急いで仲間がいるエルサレムに戻りました。

私達も、色々なつらい事や、悲しい事があると、「イエス様は本当に生きておられる神様、救い主なのかな？」と分からなくなり、暗い気持ちになる時があります。しかし、そんな時に、聖書のお話を聞いたり、読んだりすると、イエス様は、私達に信じる心を強くし、喜び、元気を与えて下さいます。私達は、どんな時も聖書のお話を聞く事を大切に、聖書を読む人になりましょう。



③ 聖書の言葉を2回告白しよう。

みち はな 道で話しておられるとき、また せいしょ せつめい 聖書を説明して下さったとき、

わたしたちの ところ も 心は燃えていたではないか。ルカ24の32

④ チャレンジしよう

あなたは、イエスのことが、もっと良く分かるために、どのようにしたいですか

ア) ホームチャーチのプリントで、いえ で、もういちど べんきょう 勉強する。

イ) 自分ひとりでも、せいしょ よ 聖書を読み、ところ のこ こと 心に残った事をメモする。

ウ) そのた じぶん 自分でかंगाえたこと

---

---

---

---

